

許せません

# 自民、公明政権が法案を国会に提出 お年より医療費大幅値上げ

## 羽村市議会では、新政会（自民系）、公明党、民主党が患者負担増計画の中止を求める陳情書を不採択！

羽村市3月定例会には4件の請願、陳情が提出されました。そのうち2件が、患者・国民負担増計画の中止をもとめるものです。日本共産党は採択を主張しましたが、新政会（自民系）、公明党、民主党などの反対で、不採択となりました。

患者・国民負担増計画の中止と「保険で安心してかけられる医療」を求める陳情書  
陳情提出者、西多摩社会保障推進協議会  
患者負担増の計画の中止を求める陳情書  
陳情提出者、東京保険医協会西多摩支部

政府は、今年10月から、70歳以上で現役並み所得の高齢者の窓口負担を、現在の2割負担から、1.5倍の3割負担にします。

現在1割負担の70歳から74歳に人については、再来年（2008年）4月から、2割負担にします。例えば、2,500円の窓口負担が5,000円になります。

さらに、高齢者医療制度を創設し、75歳以上の高齢者から新たに健康保険料を介護保険料と同じように年金から天引きするというのです。

政府は、「2025年には国の医療費負担は65兆円になる」と、国民負担増を押しつけていますが、この数字は課題に見積もられています。しかも、国の医療費負担はGDP比でOECDの中でも18番目という低さで、国力にあった負担をしていません。医療費が低くて有名な長野県・泰阜村のように、窓口負担を軽減して、病気の早期発見・早期治療で重症化を防ぎ、高すぎる薬価にもメスをいれて、医療費を引き下げるべきでしょう。

### このひどい中身！

お年よりの窓口負担増

70歳以上で現役並みの所得の人  
2割 3割（ことし10月～）

70～74歳（上記以外）

1割 2割（再来年4月～）

長く入院するとき

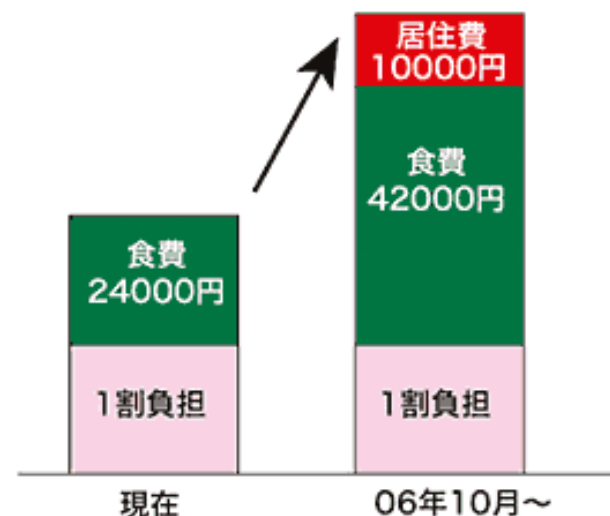
70歳以上は食費、居住費負担  
（ことし10月から）

75歳以上から新たに保険料

新たな高齢者医療制度をつくるという理由で75歳以上すべてから、保険料をとります。

（年金天引き。再来年4月～）

長期入院患者(70歳以上)の食費、居住費の負担増



さらなる改悪・負担増も

力をあわせやめさせましょう

日本共産党

自民・公明政権は、これにとどまらず、風邪などを医療保険からはずす案もねらっています。これでは際限のない負担増です。

日本共産党は窓口負担の引き上げに反対し、軽減につとめます。巨大開発のムダを削れば、医療への予算を増やすことができます。

2月27日、2006年度の政府予算は成立しましたが、いまこそ、力をあわせ値上げを許さない世論と運動をひろげましょう。

### 無料法律相談

4月11日（火）午後1時半より

羽村コミュニティセンター、2階

\*要予約 市議団へ連絡を

中原まさゆき TEL 554-1163

高橋 みえ子 TEL 555-1911

市川 えい子 TEL 554-1140

国の医療費推計「2025年の65兆円」は過大

日本共産党の小池晃議員は27日の参院予算委員会で、将来の医療費推計が、計算方法の意図的な変更（従来は直近での伸び率で試算、今回は95年から99年までの伸び率で試算）であることを指摘し、「従来の方で試算すると、2025年度の医療費は43兆円になる。改悪の根拠は崩れた」と法案の撤回をもとめました。



2006年4月2日 No.794

発行 羽村民報編集委員会  
責任者 野崎 衷

日本共産党羽村市議団のホームページ

<http://www2.ocn.ne.jp/~ashita>

市議団控室 電話/FAX 579-1163

小泉内閣は2月10日、医療制度「改革」関連法案を閣議決定し、国会に提出しました。その中身はお年寄りをまさに「ねらいうち」です。